

くだしだいみょうぎょうれつ
下司大名行列

所在地：淡路市 里



国営明石海峡公園淡路地区での下司大名行列の披露 提供：国営明石海峡公園

下司大名行列は、阿波藩蜂須賀公が参勤交代時の宿入りする際の礼法所作をまねて、江戸時代中期より始まった祭礼です。

淡路市重要文化財に指定されており、「馬よ早よ行け 新徳徳と 宿へついたら 豆かます」と、特徴あるゆったりとしたリズムで歌われる馬子唄にのせて独特の礼法所作を演じます。

下司大名行列は、行列を取り仕切ってきた祭礼団を前身とした下司大名行列保存会が、保存・伝承に努めています。以前は、氏神である春日神社の春の祭礼に毎年奉納していましたが、数年に一回の奉納となっています。その一方で、最近イベントで披露してほしいとの要望もあり、国営明石海峡公園などで披露もされています。

- 【景観の特徴】
- 自然が作りだす景観
 - ✓ 歴史が作りだす景観
 - 生活・文化が作りだす景観
 - 新しく作りだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道津名一宮 IC 下車、県道 88 号線を東に進み、国道 28 号線を南下し、県道 469 号線へ。車で約 20 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図